

令和 2 年 5 月 26 日現在

機関番号：32640

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K02291

研究課題名(和文) アラブ古典音楽のタクシーム(即興演奏)におけるマカーム(旋法)の構造

研究課題名(英文) Modal System of Improvisation in Arabic Classical Music

研究代表者

松田 嘉子(Matsuda, Yoshiko)

多摩美術大学・美術学部・教授

研究者番号：80407832

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円

研究成果の概要(和文)：アラブ古典音楽のタクシーム(即興演奏)の方法と美学に関する研究を推進し、マカーム(旋法)の種類ごとに、基本構造と、近親調等の派生形を分類整理した。タクシームには、導入・展開・転調・帰結等、伝統的に培われてきた旋律形があるが、その典型と演奏家の個性による創造の関係を照査した。現地調査をマレーシアとカタールで行った。研究成果展として公開講座を実施し、実演を交えて解説した。講座の記録はDVDとして残し、一部をYouTubeにも公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アラブ音楽と言えば、「民族音楽」の一つとして、主として民俗学的アプローチの対象であり、西洋クラシック音楽に匹敵するような理論や学識があるとは考えられていなかった。あるいは理論が難解とされていた。当研究はアラブ古典音楽の基盤であるマカーム理論を探究し、マカームの最高の表現であり演奏家の知識と技量の結実である即興演奏タクシームを多く記録、分析した。マカームの構造とその動きが解析され、アラブ古典音楽理論の解明が大きく前進した

研究成果の概要(英文)：Taksim is an important genre of Arabic classical instrumental music. It is an improvisation which musicians create on the moment of performance based on knowledge of maqamat (tetrachords). In this study, I analyzed the structures and movements of various tetrachords. When I participated in International Sherif Muhiddin Taigan Oud festival in Kuala Lumpur, Malaysia in March 2018, I discussed a lot with Dr. Bilen Isiktas on colorful movements of Turkish makams. Also when I participated in Katara 2nd Oud festival in Doha, Qatar in April 2018, I had a chance to record and analyzed the performance of renowned Turkish musicians such as Mehmet Bitmez and Yardal Tokcan. In Tama Art University, Tokyo, Japan I organized 3 lecture-concerts (2017, 2018, 2019) in which professors and musicians performed and analyzed different maqams. We recorded DVDs and uploaded some scenes from them on YouTube.

研究分野：芸術学(美学、音楽学)

キーワード：アラブ音楽 トルコ音楽 マカーム タクシーム 旋法 即興演奏 ウード

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

長い間民族音楽の専門家や研究者の間でさえ、アラブ音楽には「作曲」と「即興」の区別すらなく、確固とした論理的構造もないと捉えられがちであった。とくに即興は、魂の叫びか野生の声のようなプリミティブなイメージを持たれるか、揺れ動く感情の発露と見られるのが普通であった。本研究では、アラブ古典音楽における単独器楽による即興演奏タクシームが、学識と技量に基づいた理知的行為であることに着目し、演奏家と聴衆の間に共有される教養と美学を明らかにしようとした。またタクシームはマカームの提示であるという観点から、その行程を、マカーム(旋法)を構成するジンス(テトラコルドやトリコルドのような要素)の構造と動きとして研究することとした。

### 2. 研究の目的

アラブ音楽は世界の代表的な旋法音楽の一つであり、西洋音楽とも常に相互影響関係を持って来た。しかしその楽理は微小音程を含む精緻なマカーム体系や複雑なリズム体系からなり、口伝教授法が中心である為、実践者以外にとって難解な側面がある。本研究では、アラブ古典音楽の重要なジャンルの一つであり、至高の芸術スタイルであるタクシームを取り上げ、マカームの構造と派生形を解析することを目的とする。それはアラブ古典音楽理論および芸術の特質の解明につながり、世界音楽に対する理解促進に貢献するであろう。

### 3. 研究の方法

#### (1)現地調査

アラブ音楽およびトルコ音楽の代表的演奏家、研究者に聴き取り調査、討議、対談を実施する。古典音楽家の教養、美学、演奏技法、鍛錬法、使用楽器の特質等を記録する。

その演奏を録音し、旋法、リズム、即興技法などの分析を行う。

アラブおよび関連領域におけるフェスティバル、公演、コンサート等を聴取し、古典音楽のうち現代に受け継がれる楽曲、好まれる演目等を記録する。

#### (2)資料調査

代表的音楽家の音源・映像資料の収集を行い、タクシームについて、マカームの構造とくに開始・展開・転調・帰結におけるテトラコルドの変化を分析する。

楽譜集・楽器教則本を収集し、全ての音楽家が習得すべき重要なマカーム、典型的な旋律形の動きの特徴の研究を行う。

### 4. 研究成果

#### (1)現地調査と資料調査

2017年度～マレーシア～

2018年3月、マレーシアで行われた International Şerif Muhiddin Targan Oud Festival (クアラルンプール、ユヌス・エムレ研究所)に出演し、コンサートとワークショップに参加した。トルコ音楽およびアラブ音楽両方において重要な歴史的音楽家シェリフ・ムヒッディンに捧げられたこのウッド・フェスティバルには、トルコからビレン・イシュクタシュ、サミ・デュラル、ベキール・シャヒーン・パロール、オスマン・ヌーリー・エズペケル等のウッド奏者・研究者が参加、アジアから研究代表者(日本)、ユースフ・ズルカルナイン(マレーシア)、テオ・ユー・ヤオ(シンガポール)、イルワンシャ・オメル・ハラハブ(インドネシア)等のウッド奏者・研究者が参加した。シェリフ・ムヒッディンの音楽の特徴と歴史的意義を議論した上で、トルコのウッド奏法についてワークショップが行われ、トルコでよく用いられるマカーム、トルコ特有の装飾技法等、具体的な詳細が開示された。また東南アジアにおけるウッド音楽の発展、地元の伝統音楽と融合した現代の様相についても新たな知見を得た。

2018年度～カタール～

2018年4月、カタールのドーハで行われた「カターラ第2回ウッド・フェスティバル」(カターラ・カルチュラル・ビレッジ)にウッド奏者として出演し、同時に現地調査を行った。研究代表者が自作曲やタクシームを演奏した際は、”a scintillating oud performance by Japanese Matsuda” (Gulf Times, April 9, 2018)「日本人松田による知性溢れるウッド演奏」(ガルフ・タイムズ紙、2018年4月9日)と評された。現在の世界的代表的音楽家メフメット・ピットメツツ(トルコ)、ユルダル・トクジャン(トルコ)、ハイグ・ヤズジアン(アルメニア)等の演奏を聴取し、聴き取り調査を行った。アラブ音楽同様、トルコやギリシャのウッド音楽においてもタクシームは至高の芸術であるとの認識を共有し、それぞれの音楽家の得意とするマカームの構造とタクシームの展開方法について、詳しい記録を取ることが出来た。

マカームの種類ごとに、基本構造と近親調等の派生形を分類整理した。タクシームにおける導入・展開・転調・帰結等、伝統的に受け継がれて来た典型的な型と、演奏家の個性による自由な創造の関係を照査した。演奏家はますます技巧的洗練を際立たせる傾向にある。

また、チュニアのチュニス国立コンセルバトワール、チュニス高等音楽院、ラシディーア研究所等の研究機関と情報交換を行いながら資料調査を推進した。上記の現地調査の結果は、文献・資料面から調査していた、各種マカームを表現するテトラコルドの構造、基本のマカームから転調し帰結へと至る行程を、確実に裏付けるものであった。

## (2)講演・公演等

多摩美術大学における公開講座を開催し、研究成果を実演付きの講義形式で発表した。「マカームとラーガ2」～即興演奏の技法～(2017年12月)、「マカームとラーガ3」～(2018年12月)～楽器学と奏法論～、「アラブ・アンダルシアとルネサンス」～音楽をめぐるアラブとヨーロッパ～(2019年12月)。東京音楽大学客員教授小日向英俊氏を講師に迎え、音楽家による実演を伴いながら、アラブ音楽の即興演奏タクシームとインド音楽のアーラープの比較研究、アラブ音楽のマカームの提示方法とその典型的な旋律形、楽器ごとの装飾技法、タクシームの具体例を示し解説した。東京音楽大学講師・リュート奏者の水戸茂雄氏を講師に迎えて行った では、ウッドとリュートの関係、ルネサンス音楽とアラブ音楽の奏法・歌唱法の比較等を討議した。全ての講座の記録をDVDとして残し、演奏の一部はYouTubeにも公開した。

上記の他、多くの公演や講演において、アラブ音楽の真髄であるマカームの構造を実演し解説することに努めた。主たるものは、「琵琶とシルクロード」(文京シビックホール、2017年11月、薦田治子武蔵野音楽大学教授企画)、国土館大学100年祭21世紀アジア学部企画「アラブ音楽コンサート」(2017年10月)、聖心女子大学グローバル共生研究所主催「アラブ古典音楽を楽しむ夕べ」(2019年5月)等。

こうした成果の積み重ねによって、アラブ音楽にさほど馴染みのなかった日本の聴衆にも、作曲された作品と即興演奏の違いや、即興演奏の手法および特徴が理解されてきた。アラブ音楽の歌曲は情熱的な恋愛がテーマであることが多いが、器楽の即興演奏は理性的で厳密なマカーム理論に基づいて行われることも、同様に理解が深まってきたと言えよう。

この研究期間を通じて、新たにトルコ人、アルメニア人をはじめ世界の第一級の音楽家・研究者たち、音楽的学術的交流を持つことが出来、今後のマカーム研究、アラブおよびトルコ音楽の研究に展望と指針を与えられた。





(写真1) 公開講座「マカームとラーガ2」～即興演奏の技法～(2017年12月, 多摩美術大学)より。小日向英俊東京音楽大学客員教授(左)と研究代表者(右)。



*Japanese musician Yoshiko Matsuda*

*The performers of the evening included renowned musicians such as Mansour Mohannadi from Qatar, Saleh al-Juraid from Kuwait, Jalsa Balasyik from Indonesia, Yoshiko Matsuda from Japan and several other performers who took part in the festival.*

(写真2と記事抜粋) 2018年4月9日付 Gulf Times 紙より。「カタール第2回ウッド・フェスティバル」(カタール・ドーハ)出演中の研究代表者。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 松田嘉子	4. 巻 430
2. 論文標題 サイド・シュライビの思い出	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地中海学会月報	6. 最初と最後の頁 7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） <a href="http://www.collegium-mediterr.org/report/">http://www.collegium-mediterr.org/report/</a>	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松田嘉子	4. 巻 22
2. 論文標題 結婚式に欠かせないのは大音量のミュージック	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ベン	6. 最初と最後の頁 87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

アラブ・ミュージック・コム(アラブ音楽ホームページ) <a href="http://www.arab-music.com">http://www.arab-music.com</a> 「カタール第2回ウード・フェスティバル」(2018年4月5-8日, ドーハ)に松田嘉子出演 <a href="http://leclubbachraf.blogspot.com/2018/04/2.html">http://leclubbachraf.blogspot.com/2018/04/2.html</a> 松田嘉子出演International &#350;erif Muhiddin Targan Oud Festival <a href="http://leclubbachraf.blogspot.com/2018/03/international-serif-muhiddin-targan-oud_22.html">http://leclubbachraf.blogspot.com/2018/03/international-serif-muhiddin-targan-oud_22.html</a> 多摩美術大学 松田嘉子アラブ音楽研究プロジェクト主催公開講座「アンダルシアとルネサンス」 <a href="https://k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/2486929/">https://k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/2486929/</a> 多摩美術大学連続講座「世紀を歩く - 美術と文化VIII:11世紀」第8回「後ウマイヤ朝の音楽」 <a href="http://www.k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2018sp/000430.htm">http://www.k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2018sp/000430.htm</a> 多摩美術大学〔科研費〕松田嘉子アラブ音楽研究プロジェクト公開講座「マカームとラーガ3」 <a href="https://k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/1880791/">https://k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/1880791/</a> 多摩美術大学連続講座「世紀を歩く-美術と文化VII:16世紀」第4回「オスマン帝国の古典音楽」 <a href="http://www.k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2017sp/000394.htm">http://www.k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2017sp/000394.htm</a> 日本の響き、世界の調べ ~ 第2回「琵琶とシルクロード」 <a href="http://bunkyoicivichall.jp/play_detail?id=2695">http://bunkyoicivichall.jp/play_detail?id=2695</a> 多摩美術大学〔科研費〕松田嘉子アラブ音楽研究プロジェクト 公開講座「マカームとラーガ2」 <a href="http://www.k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/1232705/">http://www.k.tamabi.ac.jp/activity/kikaku/1232705/</a> 公開講座(多摩美術大学)より Samai Asbain (Mohamed Saada) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=pknpZSB4jvM">https://www.youtube.com/watch?v=pknpZSB4jvM</a> 公開講座(多摩美術大学)より Wasla Asbaain (Alae ya moudir errah) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=EQrQ16UwOzw">https://www.youtube.com/watch?v=EQrQ16UwOzw</a>
---

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----